

## 第9回精神保健福祉士 専門科目 (やまだ塾)

### 国家試験 問題・解説

#### ＝④精神保健福祉論＜事例20＞＝ (問題48～問題50)

#### 【精神保健福祉論】

(精神保健福祉論・事例問題2)

次の事例を読んで、問題48から問題50までについて答えなさい。

(事例)

Mさん(60歳)は専業主婦で子どもがなく、趣味の書道以外の人付き合いをほとんどせずに暮らしてきた。数年前から物忘れが目立つようになったが、夫(58歳)は老化現象と考えていた。しかし6か月ほど前からMさんは同じ食事メニューが続いたり、亡くなった母親が訪ねてきたと話したり、深夜、実家に帰りたいと言うようになり、不安になった夫が受診を勧めたが拒んだ。しかし、1か月ほど前Mさんは、買い物帰りに迷子になり、通りかかった隣の主婦に連れられて戻ってきた。またその夜から「誰かが泥棒に入る」と訴え、夜中に外出しようとして夫と口論となって大声で叫ぶなどの行為が続いた。結局近所からの苦情もあり、夫は自分の受診の付き添いと偽って精神科に受診させた。Mさんは認知症と診断され頑なに入院を拒んだが、夫が翌日から出張するため、自分も安心だから入院して欲しいと説得すると、「あなたの迷惑になりたくない」と入院に同意した。(問題48)

Mさんは開放病棟に入院し、夫が帰った後は落ち着かず、自室やトイレが分からない、食事を摂ったことを忘れて何度も「看護師が配膳しない」と訴える、などが続き、翌日の就寝時に「夫が待っているのでうちに帰る」と荷物をまとめ出て行こうとした。(問題49)

診察の結果、入院形態を切り替えて入院を継続することになり、Mさんは閉鎖病棟に変わった。

入院1か月後、Mさんは日中落ち着いて、週2回書道の作業療法と毎日の夫の面会を楽しみ、夜間覚醒がなくなった。しかし、夫と別れるときに「一緒に帰る」と泣き、就寝するまでは落ち着かず、身の回りの品を盗まれたなどと訴えていた。夫は、経済的問題はないことを確認して退職する覚悟を決め、精神保健福祉士にMさんを早く退院させて今後も家庭で夫婦一緒に過ごしたいと相談した。(問題50)

問題 48 Mさんの入院形態と入院の可否を判断する医師及び同意をする人の組み合わせのうち適切なものを一つ選びなさい。

<形態>                      <判断者>                      <同意者>

1. 医療保護入院……精神保健指定医1名……夫
2. 任意入院……医師……Mさん

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

3. 任意入院………特定医師………夫
4. 措置入院………精神保健指定医2名以上………都道府県知事
5. 応急入院………医師………Mさん

問題 49 「うちに帰る」というMさんへの病院職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 今は、公共交通手段がないので、翌朝に退院できるとMさんに伝える。
- B. 夜間は事務手続きができないので、退院は許可できないとMさんに伝える。
- C. Mさんの訴えを退院要求と判断し、安全に配慮してタクシーで退院させる。
- D. 夫が出張中であることを伝え、精神保健指定医の診察を受けられるように手配する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 50 Mさんの退院に向けて必要な援助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 65歳未満なので介護保険による在宅サービスは受けられないが、医療保険による精神科訪問看護を利用できると説明する。
- B. Mさんが住み慣れた地域で生活できるように、グループホームの利用を勧める。
- C. 夫の休息にもなるので、Mさんのデイ・サービスの利用を検討する。
- D. 入院が1か月以上になったので、退院後の生活環境や夫の介護力を確認して退院前訪問看護指導を治療チームで検討する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C

4 B D

5 C D